

## 卒業後3年次アンケート（2023年度実施）集計結果

京都大学文学部・文学研究科では、卒業後3年目の方を対象に、本学部・研究科を振り返って評価してもらうアンケートを実施し、その結果を公開しています。

ご協力いただきました卒業生・修了生の皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。

### 【実施時期】

2023年11月8日～11月29日

### 【実施方法】

連絡先メールアドレスが判明している2020年度卒業生130名に依頼状を送信し、京都大学学外アンケートシステムにて回答を依頼した。卒業生からの回答数は18で、回答率は13.8%で、昨年度（回答数26、回答率22.4%）に比べて、回答数、回答率ともに減少した。

### 【結果の概評】

Q.03「文学部での勉学を通じて身につけ、卒業後に役立った能力や資質について、以下より選択してください」（複数選択可）では、「一般的な教養や知識」「自学自習の姿勢」「専門的な知識と技術」「自分で問題を発見し、解決を図る能力」「専門分野の研究能力」「外国語の能力」「社会的な常識」が選択され、上位を占めた。前年度同様、「一般教養」は上位に入っているが、「専門的な知識と技術」への回答率は前年度から上がり、「自分で問題を発見し、解決を図る能力」への回答率も依然として高いことは注目すべき点であろう。今後の動向を見守る必要があるだろう。

Q.06「振り返ってみて、あなたは文学部で学べたことに満足していますか」については、「十分に満足している」および「それなりに満足している」とする回答が、合計でおよそ90%となった。これは前年度をやや下回る数値ではあるが、9割近い回答者が文学部の教育に高い満足を感じていることは注目すべき点であろう。単年度の結果に極度に拘る必要はないと思われるが、今後の動向に注意したい。

### 【自由記述欄】

Q.04「文学部での勉学について、特にどのような所が良かったか、自由に記述してください。」

昨年度と同じく、研究テーマを自由に決定できること、興味の赴くままに主体的に学ぶこ

とができるなど、文学部の自主性を尊重する学風を評価した意見が多かった。また、貴重な文献へのアクセス、教員や友人からの良き刺激や交流といった充実した学習環境、専門知識への関心の広がりへの評価も目立った。いずれも文学部の教育の特色を反映しているものと考えられる。以下、その特徴を示す回答を列挙する。

- ・幅広い内容から授業を選択できる。
- ・3,4年次は少人数の授業が多く、教授にもよく見てもらえるし意見交換等も活発に行える。
- ・問いを立て、考え続けることの価値を学べたこと。
- ・飲み会のときに卒論の内容が話のネタになることがあり助かりました。
- ・色々なことに興味を持ち、それらのつながりを発見すること
- ・選択科目として、英文学やドイツ文学、社会学の講義を受講したことで、専門分野の知識とは別に、教養や社会問題に対する批判的思考を習得することができた。
- ・資料が豊富にあったところ。ゼミで他の方の研究について聞いたところ。
- ・特殊講義や演習で院生の方々と交流できるところ。
- ・当たり前を疑う、自由な発想を育むことができたこと。
- ・選択できる科目や授業が多様で、専攻する分野以外にも関心のある分野についての講義を受けることができた点。
- ・演習で自分で課題を見つけとことん調べ発表するのが楽しかった
- ・まずは自分で考える、考えて得られたことを元に周囲の助けを借りる、という課題解決の方法を練習できたこと。特に自分で考える部分については、時間に余裕がある学生のうちに経験が積めてよかった。

Q.5「文学部での勉学について、特にどのようなところが不満あるいは改善すべき点だと感じたか、自由に記述してください。」

例年と同じく、自主性を尊重する学風のマイナス面に関する指摘がなされたほか、キャリアサポートや勉学にあたっての学生に対するサポートが手薄だという批判、他部局との連携不足、専修内外の教員や学生との交流の欠如をうったえる意見などが見られた。以下、その特徴を持つ回答を示す。

- ・教職課程の必須の科目と学部修了に必須の科目の時限が被っていた。教務科を通じて文学部、教育学部との調整が必要だと思う。
- ・仕事の種類や企業で働くこと、お金を稼ぐこと、またそれ以外の生き方を知らないまま就職してしまった。
- ・専門性の高さが故にどのようなアプローチを行い演習（輪読など）の目的を達せられるのかが、自分の属さない系のものについては分からず、情報も少ないことはがもったいないと感じられます。

・特に卒業論文に関しては、9割方学生任せであり、建設的な助言や方策はなかなか得られない点。学生が尋ねれば答えてくださると思うが、研究室の風通しの的にも中々立ち寄り難く、院生になって初めて認められるといったような空気が存在していたように感じる。

アンケート名 2023年度 卒業後・修了後3年次アンケート

部局 文学部

対象者数 130

回答者数 18

回答率 13.8

結果 (Q.01) あなたが属していた系（専攻）を教えてください。

- A: 哲学基礎文化学系（思想文化学専攻）(0票/0%)
- B: 東洋文化学系（文献文化学専攻・東洋系）(6票/33.3%)
- C: 西洋文化学系（文献文化学専攻・西洋系）(2票/11.1%)
- D: 歴史基礎文化学系（歴史文化学専攻）(2票/11.1%)
- E: 行動・環境文化学系（行動文化学専攻）(5票/27.8%)
- F: 基礎現代文化学系（現代文化学専攻）(3票/16.7%)
- G: 無回答 (0票/0%)



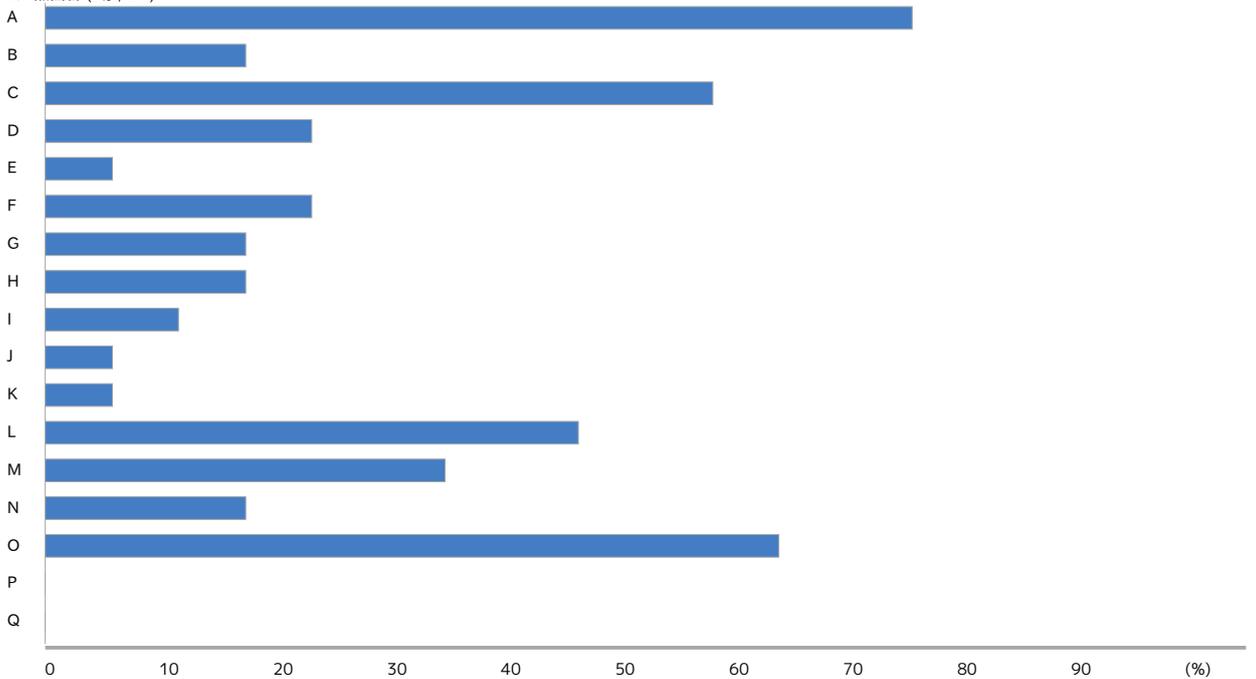
(Q.02) あなたの現況について教えてください。

- A: 社会人（一般企業等で就労）(9票/50%)
- B: 社会人（官庁・地方自治体等で就労）(3票/16.7%)
- C: 社会人（教員・司書等の専門職として就労）(2票/11.1%)
- D: 社会人（非就労）(0票/0%)
- E: 学生・院生（京都大学）(2票/11.1%)
- F: 学生・院生（他の大学）(1票/5.6%)
- G: 学生・院生（その他の学校）(0票/0%)
- H: その他(1票/5.6%)
- I: 無回答 (0票/0%)



(Q.03) 文学部（文学研究科）での勉学を通じて身につけ、卒業後に役立った能力や資質について、以下より選択してください（複数選択可）。

- A: 一般的な教養や知識 (13票/72.2%)
- B: 社会的な常識 (3票/16.7%)
- C: 専門的な知識と技術 (10票/55.6%)
- D: 専門分野の研究能力 (4票/22.2%)
- E: 国際感覚や国際性 (1票/5.6%)
- F: 外国語の能力 (4票/22.2%)
- G: 企画力や創造的思考力 (3票/16.7%)
- H: 実行力 (3票/16.7%)
- I: 協調性やチームワーク (2票/11.1%)
- J: コミュニケーション能力 (1票/5.6%)
- K: リーダーシップ (1票/5.6%)
- L: 自分で問題を発見し、解決を図る能力 (8票/44.4%)
- M: 自己管理能力 (6票/33.3%)
- N: 倫理観 (3票/16.7%)
- O: 自学自習の姿勢 (11票/61.1%)
- P: その他 (0票/0%)
- Q: 無回答 (0票/0%)



(Q.04) 文学部（文学研究科）での勉強について、特にどのような所が良かったか、自由に記述してください。

●近日公開予定

(Q.05) 文学部（文学研究科）での勉強について、特にどのようなところが不満あるいは改善すべき点だと感じたか、自由に記述してください。

●近日公開予定

(Q.06) 振り返ってみて、あなたは文学部（文学研究科）で学べたことに満足していますか。

- A: 十分に満足している。(9票/50%)
- B: それなりに満足している。(7票/38.9%)
- C: どちらとも言えない。(1票/5.6%)
- D: あまり満足していない。(1票/5.6%)
- E: 満足できず、後悔している。(0票/0%)
- F: 無回答(0票/0%)



## 修了後3年次アンケート（2023年度実施）集計結果

京都大学文学研究科では、修了後3年目の方を対象に、本研究科を振り返って評価してもらうアンケートを実施し、その結果を公開しています。

ご協力いただきました修了生の皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。

### 【実施時期】

2023年11月8日～11月29日

### 【実施方法】

連絡先メールアドレスが判明している2020年度修了生（修士49名、博士20名）に依頼状を送信し、京都大学学外アンケートシステムにて回答を依頼した。修士課程修了生からの回答数は9（回答率18.4%、前年度は19.7%）、博士後期課程修了生からの回答数は5（回答率25.0%、前年度は41.7%）で、修士および博士の回答率は昨年度より減少し、依然として低い状態にとどまっている。回答率を高めるべく、依頼や回答方法などを改善することが今後は必要となろう。

### 【結果の概評】

#### 〈修士課程〉

Q.03「文学部での勉学を通じて身につけ、卒業後に役立った能力や資質について、以下より選択してください」（複数選択可）では、「専門分野の研究能力」「専門的な知識と技術」「自分で問題を発見し、解決を図る能力」「一般的な教養や知識」「外国語の能力」「自学自習の姿勢」が上位を占めた。前年度に比べて「専門分野の研究能力」の選択率が上位を占めた。回答者の絶対数が少ないため、単年度の結果に拘る必要はないと思われるが、今後の動向に注意したい。

Q.06「振り返ってみて、あなたは文学部で学べたことに満足していますか」については、「十分に満足している」および「それなりに満足している」とする回答が、合計で100%となった。文学研究科修士課程の教育が高い満足度を維持していることがうかがえる。

#### 〈博士後期課程〉

Q.03「文学部での勉学を通じて身につけ、卒業後に役立った能力や資質について、以下より選択してください」（複数選択可）は、おおむね前年度通りの結果であったが、「専門的な知識と技術」「専門分野の研究能力」はともに100%で最上位を占めた。これに続き「自

分で問題を発見し、解決を図る能力」が選択された。研究者の養成を目的とする博士後期課程の教育の成果が出ていると思われる。また、「自学自習の姿勢」が前年より上昇した(60%、前年度は40%)。しかし、回答者の絶対数が少ないため、単年度の結果に極度に拘る必要はないと思われる。今後の動向に注意したい。

Q.06「振り返ってみて、あなたは文学部で学べたことに満足していますか」については、「十分に満足している」および「それなりに満足している」とする回答が、合計で100%となった。文学研究科博士後期課程の教育が高い満足度を維持していることがうかがえる。

### 【自由記述欄】

#### 〈修士課程・博士後期課程〉

Q.04「文学部での勉学について、特にどのような所が良かったか、自由に記述してください。」

研究の自主性と自由を重んじる学風、研究室内外の教員や他の学生との交流の有益さ、授業の充実と質の高さ、多様性といった文学研究科の特性を高く評価する意見が多く見られた。また図書館の自由な使用など、研究環境の充実に関する意見もあった。以下、特徴的な回答を挙げる。

#### 〈修士課程〉

- ・多様性。様々な授業が設けられ、様々な先生や学生に出会ったこと。知的好奇心が大いに刺激された。
- ・自由。自分がやりたいことができ、先生からの過度な干渉はなかった。
- ・教育リソースが充実
- ・自分で課題を見つけてコツコツ取り組む姿勢を培えたところです。
- ・多様な分野の講義が提供されており、またその選択も裁量が効きやすいところ。
- ・周囲の学生も極めて優秀で、知識の涵養と人脈の形成に適した環境
- ・自由な学風と、それを支える先生方がいらっしゃること
- ・何かしたければ何だってできたところです。勉強でもそれ以外でも何でも。

#### 〈博士後期課程〉

- ・私は大学院から京都大学へ進学しましたが、自由でなんにでもチャレンジさせてくれる風土のなか、のびのびと研究に向き合うことができました。
- ・文学部閲覧室が便利であること、先生方が優しく、各方面から指導くださること、研究室で自由に勉強できることなど
- ・教職に就いてから、あらためて思うが、京都大学文学研究科の「自由」の学風のおかげで

今の自分がいると。子供の頃から、与えられた任務を遂行することが苦手で、自分の意識で動かなければ、必ず行き詰る。修士課程に入ってから博士号を取得するまでの七年間、指導教官はずっと静かに見守ってくれた。これをやれ、あれをやれのような指示は一度もなかった。自分でじっくり考えて、授業の場できちんと確認する、このような自主的な勉強ができて、実に良かった。

Q.5「文学部での勉学について、特にどのようなところが不満あるいは改善すべき点だと感じたか、自由に記述してください。」

過去の年度では、自主性を尊重する文学研究科の学風のマイナス面を指摘する回答が散見されたのに対し、今年度においては、自主性を尊重する文学研究科の学風をプラスに捉え、今後もそのような学風の維持を願う回答も見られた。また、事務面でのサポート不足や教員を含めた IT スキルや教育の不足、学内 Wi-Fi のリソース不足などといったハード面の不足についての意見が出された。以下、特徴的な回答を挙げる。

#### 〈修士課程〉

- ・行政面というか、事務的なサポートが少し足りない。書類申請などに時間がかかったり、年中行事の各時点について分からないまま締切が過ぎてしまうことがあった。
- ・放任主義なので教員からのフォローが十分でない
- ・もっと学部横断型の企画に参加すべきでした。
- ・文学部閲覧室の地下二階にいても学内 Wi-Fi につながる事ができればと思います。
- ・IT はもうちょっと教員のスキル含めて入れ込んだ方が研究の幅も広がるんじゃないでしょうか。元々そういう講義が少なかった印象。IT スキルというのは手段であって目的ではないが、その手段としての射程がだいぶ広がってるので、門戸は広い方がいいだろう

#### 〈博士後期課程〉

- ・教員に応じて様々で、一概に当てはまるものはありません。そうした自由な母体を今後も維持してほしいと願います。

アンケート名 2023年度\_修士\_修了後3年次アンケート

部局 文学研究科

対象者数 49

回答者数 9

回答率 18.4

結果 (Q.01) あなたが属していた系（専攻）を教えてください。

- A: 文献文化学専攻・東洋系 (3票/33.3%)
- B: 文献文化学専攻・西洋系 (1票/11.1%)
- C: 思想文化学専攻 (0票/0%)
- D: 歴史文化学専攻 (2票/22.2%)
- E: 行動文化学専攻 (3票/33.3%)
- F: 現代文化学専攻 (0票/0%)
- G: 国際連携文化越境専攻 (0票/0%)
- H: 無回答 (0票/0%)



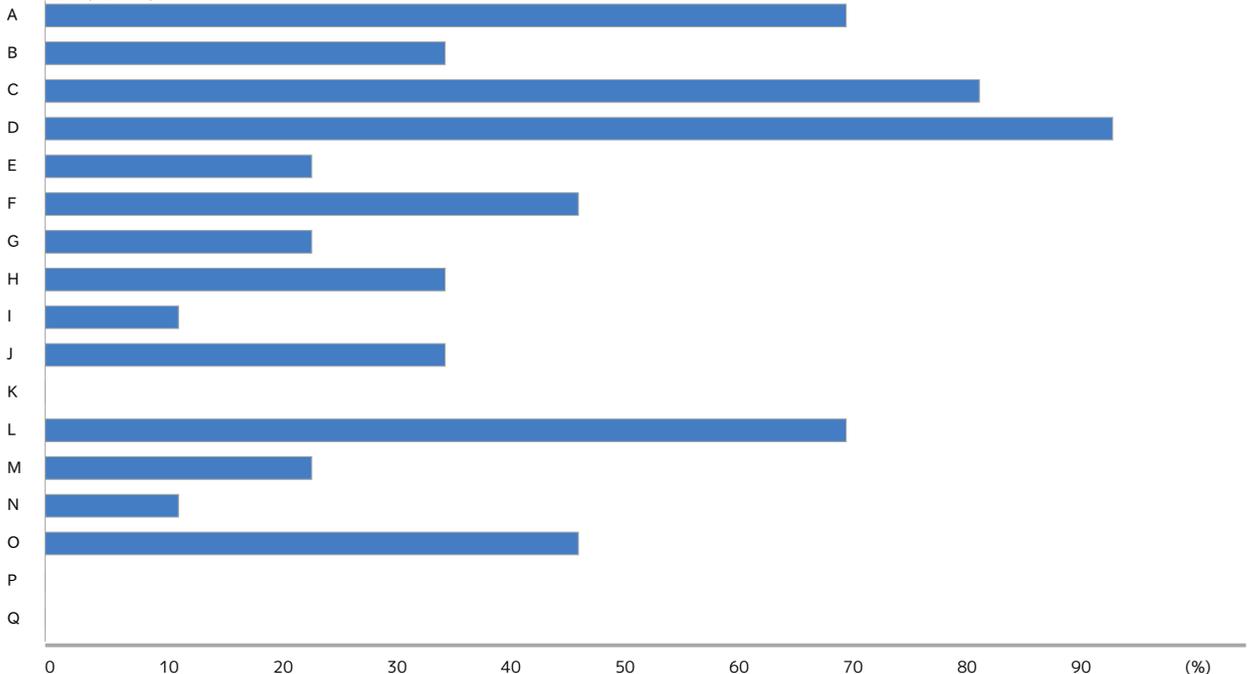
(Q.02) あなたの現況について教えてください。

- A: 社会人（一般企業等で就労） (3票/33.3%)
- B: 社会人（官庁・地方自治体等で就労） (0票/0%)
- C: 社会人（教員・司書等の専門職として就労） (0票/0%)
- D: 社会人（非就労） (0票/0%)
- E: 学生・院生（京都大学） (6票/66.7%)
- F: 学生・院生（他の大学） (0票/0%)
- G: 学生・院生（その他の学校） (0票/0%)
- H: その他 (0票/0%)
- I: 無回答 (0票/0%)



(Q.03) 文学部（文学研究科）での勉学を通じて身につけ、卒業後に役立った能力や資質について、以下より選択してください（複数選択可）

- A: 一般的な教養や知識 (6票/66.7%)
- B: 社会的な常識 (3票/33.3%)
- C: 専門的な知識と技術 (7票/77.8%)
- D: 専門分野の研究能力 (8票/88.9%)
- E: 国際感覚や国際性 (2票/22.2%)
- F: 外国語の能力 (4票/44.4%)
- G: 企画力や創造的思考力 (2票/22.2%)
- H: 実行力 (3票/33.3%)
- I: 協調性やチームワーク (1票/11.1%)
- J: コミュニケーション能力 (3票/33.3%)
- K: リーダーシップ (0票/0%)
- L: 自分で問題を発見し、解決を図る能力 (6票/66.7%)
- M: 自己管理能力 (2票/22.2%)
- N: 倫理観 (1票/11.1%)
- O: 自学自習の姿勢 (4票/44.4%)
- P: その他 (0票/0%)
- Q: 無回答 (0票/0%)



(Q.04) 文学部（文学研究科）での勉強について、特にどのような所が良かったか、自由に記述してください。

●近日公開予定

(Q.05) 文学部（文学研究科）での勉強について、特にどのようなところが不満あるいは改善すべき点だと感じたか、自由に記述してください。

●近日公開予定

(Q.06) 振り返ってみて、あなたは文学部（文学研究科）で学べたことに満足していますか。

- A: 十分に満足している。(7票/77.8%)
- B: それなりに満足している。(2票/22.2%)
- C: どちらとも言えない。(0票/0%)
- D: あまり満足していない。(0票/0%)
- E: 満足できず、後悔している。(0票/0%)
- F: 無回答(0票/0%)



アンケート名 2023年度\_博士\_修了後3年次アンケート

部局 文学研究科

対象者数 20

回答者数 5

回答率 25

結果 (Q.01) あなたが属していた系（専攻）を教えてください。

A: 文献文化学専攻・東洋系 (2票/40%)

B: 文献文化学専攻・西洋系 (0票/0%)

C: 思想文化学専攻 (0票/0%)

D: 歴史文化学専攻 (2票/40%)

E: 行動文化学専攻 (1票/20%)

F: 現代文化学専攻 (0票/0%)

G: 無回答 (0票/0%)



(Q.02) あなたの現況について教えてください。

A: 社会人（一般企業等で就労） (0票/0%)

B: 社会人（官庁・地方自治体等で就労） (0票/0%)

C: 社会人（教員・司書等の専門職として就労） (5票/100%)

D: 社会人（非就労） (0票/0%)

E: 学生・院生（京都大学） (0票/0%)

F: 学生・院生（他の大学） (0票/0%)

G: 学生・院生（その他の学校） (0票/0%)

H: その他 (0票/0%)

I: 無回答 (0票/0%)



(Q.03) 文学部（文学研究科）での勉学を通じて身につけ、卒業後に役立った能力や資質について、以下より選択してください（複数選択可）

A: 一般的な教養や知識 (1票/20%)

B: 社会的な常識 (1票/20%)

C: 専門的な知識と技術 (5票/100%)

D: 専門分野の研究能力 (5票/100%)

E: 国際感覚や国際性 (2票/40%)

F: 外国語の能力 (2票/40%)

G: 企画力や創造的思考力 (2票/40%)

H: 実行力 (2票/40%)

I: 協調性やチームワーク (2票/40%)

J: コミュニケーション能力 (2票/40%)

K: リーダーシップ (2票/40%)

L: 自分で問題を発見し、解決を図る能力 (4票/80%)

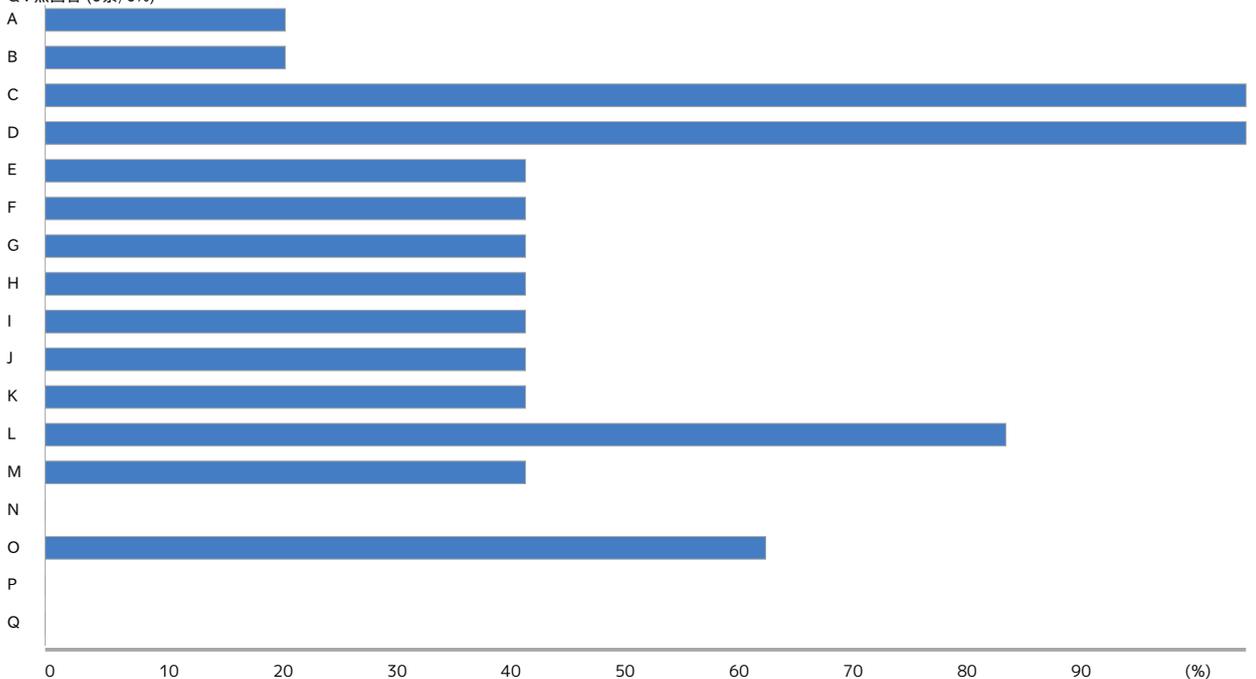
M: 自己管理能力 (2票/40%)

N: 倫理観 (0票/0%)

O: 自学自習の姿勢 (3票/60%)

P: その他 (0票/0%)

Q: 無回答 (0票/0%)



(Q.04) 文学部（文学研究科）での勉学について、特にどのような所が良かったか、自由に記述してください。

●近日公開予定

(Q.05) 文学部（文学研究科）での勉学について、特にどのようなところが不満あるいは改善すべき点だと感じたか、自由に記述してください。

●近日公開予定

(Q.06) 振り返ってみて、あなたは文学部（文学研究科）で学べたことに満足していますか。

- A: 十分に満足している。(3票/60%)
- B: それなりに満足している。(2票/40%)
- C: どちらとも言えない。(0票/0%)
- D: あまり満足していない。(0票/0%)
- E: 満足できず、後悔している。(0票/0%)
- F: 無回答(0票/0%)

